役員も決定し、 ここに生徒会役員

二学期もいよいよ終盤となり スに乗りはじめた感がある。

空合きら貴めたってどうなるのした。

## 新生徒会好調に発足

作った新会則に基いて選挙も新しせて行くかという重大責任を自覚 足しました。そして前期生徒会の一会を、如何に運営し、向上発展さ

方法で行われ、会長、副会長、

して、われわれが今後成さんとす

今年は前期延長の為、例年より から嬉しく思っております。そし

田口生徒会長(中)

さのあま

非常にむつかしいこと 先ず現在の生徒会の実情を充分に

こう考えてくると、われわれは

望みます。

ないだろうかとも思い一ません。 ます。しかし、これは

員が、真剣

理営する役

会員諸君の協力を求む

五日程遅れて後期の生待会が発してまた、名誉ある洛星中学校生徒

を誇りとすると共に、カーバイ活「在だ」と言われることがありまし「の上に組立て、行くという点につ「り、向上発展に少する指導性を失 君のために、大馬の労をとること。には「生徒会は会員から浮いた存」るように、誘導して、それを総意一過ぎれば、ともすれば登協的にな

・生徒会をいての考慮が足りなかったのでは一って行く傾向をたどらぬとも言え、段階として次の三項目を取り

り、一段と結束や固めて、会員諸弘うことに変のありませんが、時一ことを、意見として発表して貰え一総意を取り入れることに気を配り「りあげることから始めて行きたい

発表して貰える場を具体的につく

という自覚に基づいて、会員一人

一人の、発展的意見並びに反省を

選挙管理委員

3 C 奥田

清

くことを要望します。その上で、

と思います。

以上のような訳で、まず第一の

ますので、各役員、部会を通じ

に、大いに舊気しょうではありま

長谷川太一2B藤田真一2C 村京平夫IC 西村彰文2A 浜 正孝-A 竹内義博-B

大谷和雄3C

の全員が無事就任することになって上げられた先輩諸兄に敬意をいて、夫々に感じたこと、考えた一固めることにもなります。また、

現在の生徒会を今日迄盛りあげと、或は会員各目が、生徒会につように引きづってゆこうと決意を

て、会員相互間に望んでいると一のであればある程、生徒会をその

護長、各一名副議長、二名が選任 るところ、信ずるところを、述べ いと思います。 また一面 に 於い それが正しいととと信じられるも とれは常に会員全体の問題である

て、却ってその間にギャップを生一げて、理想主義的傾向に走ること

じてしまったと言えないこともな」は避けられないでしょう。また、

過ぎ、現在の生徒会の段階を一度

義的に走り

れば理想主 り、ともす

に二段も三段も引きあげようとし

取り組めば、当然立派な目標を掲 を向上発展せしめる任務と真剣に

徒会並びに、役員との間の距離を

避けると共に、会員諸君にも、生

接近して理解する態度をとって頂

上に立たされて、これ

走るということを、一方において るという目標を立て、余り理想に 容みこんだ上で、一歩一歩前進す

誰しも大きな資任の

### 紹介を載せてみよ もめた高校生徒総会と中学生徒会の活

々三人共フ 出され、我 の役員に選 三人が後期

らせるつもので ドポール大会に関 す。第一号はハン

ァイトを燃して生徒会の活動状況や予定を知 田・秋道の 末、菅・塩は、立会演説で述べた通り、生徒 会報発行、監査委員強化、クリス に行なうのであり、皆さんに徹底 会を真に生徒全員のものとする為 マスを盛大にの三つです。 第一に会報発行。これは、生徒

育委員を通じて各一によってクラブ活動を充実させ、

というより、生徒会の失策を追求 | 事実であった。こうして月並の質 | との意見が出、 | 瞬会場は騒然と | で双方の意見が食い違い、その為 疑問点、不審などころを質問する一の傾向を示した事は、見逃せない一んなほめられたものでもない。」一れた。しかし、値上げの継続問題 の訂正があり、その後質問が開始一ず、質問は再び続けられた。が、 された。しかし決算報告の内容の | これより後は、意見内容が前向き | 効になる。そしてこの方法は、そ | て両会が共に開かれ、一応可決さ | が、まだまだ考えなければならな 決算報告の生徒総会が、先月十八は」との意見が出され、動議され る発言に傾むいた様に思われ はじめに、配られた決算報告書一った為か、少数名同意しか得られ一挙方法は会則に適していないし、 前期生徒会最後の仕事として、一か。こんな質問なら一切打切って一しかし総会は、なおも続けられ

た。後期の会長選挙の不手際より

接戦の一やしています。この生徒会の方針 見て、皆さんからも我々にどしど 配りませんでしたが、第二号から し建設的な意見を出して下さい。 は全員に配って生徒会活動を理解 してもらうようにします。それを 第二に監査委員強化。本来監査

たのであえてここに方針として掲しる執行委員及び今度新しく設け るものであり、会長が言いだすべ 委員会は我々役員から独立してい

た。それを見かねてか、高三の一一承認の下に決算報告は総会を通一ってやったもので、会則に適して 生徒より、「大任を果した生徒会」り、前期生徒会の任務は全く終了 問、意見が出された後、大多数のした。「この選挙法は慣習になら た。しかしそれがあまりに極端だ一端を発して、「グループごとの選 のでなかろう。」と選管委の方か いうなれば、今度の会長選挙は無

いないといって無効になるべきもは、選挙法だけでなく、会則自体 ば成功です。 たようだ。が、議長を責めるよ | 職事進行にはかなりの問題があっ| のため、両者の反省はきっと大き 挙は有効となった。しかし、生徒一つではないか。全面的に議長を攻 ら答弁され、結局、今回の会長選 り、我々のヤジ馬的な態度を省よ に不審をいだいており、会則審議 のは六時に近かった。 会結成が決定した。そして終った 最後に一言。議長の態度及び、 われる。とにかく生徒にも生徒会しが甘すぎた嫌いもあるように思 におちつく。今後の生徒会の発展 にも両方に非があったという結論 撃するのはどうかと思う。しかし

生徒会側も、総会に対しての見通

副切

"

風紀委員長

栗山正路

成しますので、これを機会に、

す。丁度、今度新しい会則が完

天木直人1D 渡辺一弘一B 苧阪浩男2C

副議

識

高城寬志

格

塚本啓介

新井 泉10

高野清弘1A

クラスに一枚しか一会則履行を確実にする事が出来れ一出来るだけ多数参加してほしいと一出して下さい。 する要項として体一けるのです。監査を活発にする事一たクリスマス特別委員を中心にしてもりますが我々の空回りになら き事ではないのですが、過去の監 | 学に圧倒されがちです。そこで我 | 則審議についても、すぐに審議会 て種々の案を練っていますから、 は後期最大の学校行事であるの一色々な事をやるつもりですし、又 に、例年高校の参加者が少なく中 第三にクリスマス、クリスマス ない様に、皆さんも活発に意見を を発足させます。とにかく頑張っ 思います。 方針はこの三つですが、他にも

ED 書 印刷品 体副育 // 刷 記 松本俊介 伊吹憲彦 堀江健介 長谷川準 石井守男

一、新会則を会員に充分に理解し げ、これから実現して行くことを め、立派に運営されて行くため のですから、相互の理解を深 に、絶対に大切なことと思われ一後、幾年も幾年も続く後輩のため いわば、生徒会の骨組となるもくものの誇りと伝統を築きあげて じられているように思えます。 もすれば、関心が薄く、うとん 会員全体のためのものです。と一下さることを会員諸君にお願いし ているものです。それは決して 則というルールの上に運営され 役員のためだけのものでなく、 生徒会という組織はあく迄会 徒会はまた、洛星中学校に籍を置 めくものです。 ます。自分等の力で結成される生 てあげてゆく温かい気持で、右の 三項目に、どうか宜しく協力して 三、会誌を編集することにより、 先輩諸兄のためにも、これから われわれ生徒会員全体の手で育 る。これは直ちに着手する。 和感をたかめるとともに、各自 の自発的な意見の開発を求め 会員全体の相互関係を深め、親 を反映せしめるように努める。

# 中学生徒会

発足してから三週間余りたった。 振り返ってみよう。 新生徒会が生徒の期待のもとに

洛星新聞編集局 京都市北区小松原南町 TEL@2334

局

員

した。29日には会費値上げについ 第二回中央委員会及び部長会議で 修正案が通り、本部も仕事を開始一のではあったが、和やかに熟談さ 末否認された。しかし、22日には 時30分から開かれ、長時間審議の一ことになった。又、懇談会も30日 たが、双方の議決が異った為、洛|数を以って可決された。なお会則 た。議題は本部役員の承認であっ 分から三A、三Bの教室で開かれ そこで、今までの生徒会の様子を一った。又、29日には中央委員会が 星史上初の合同協議会が翌日の一 長会議が、去る15日金曜日4時30 第一回中央委員会及びクラブ部一られることになった。こうして、 い問題が多くありそうだ。 同志社女子部だけというし寂いも れた。この様に活動は活発である に本校会議室で行われた。洛星と の値上げについて審議されて、多 改正問題は次の総会へまわざれる

高校生徒会 副" 副// 文化委員長 会計委員長 書副会 会長 記 源田善郎 松本俊介 河原林桂一郎C 長谷川準 2A 秋道智弥 20 塩田俊明 2 A 2 B

文化委員

山根三3A

風紀委員

田辺

上野聰樹一C

早年人一口

黒沢 勝3B

小原章彦3C

長

健 博

卯余野義文2A鶇飼康東2B

その 体育委員

麻田達郎 岩城雅邦 奥田

山崎信洋

交化部長 副 無任執行委員 保健体育委員長副島 協 " **婚**格 林弘太郎 北山修 大山多景石IB 山口純也 2 C

3 A うする。そして、生徒会に総意 かの方法で、検討して貰うよう いと認められた時は、生徒会に 全体にとりあげられることがよ ン(討論)する。そしてそれが 出向いていってディスカッショ 会員全体に理解の徹底をはかる て取りまとめ、会員全体に何等 る場合生徒会役員は、いつでも ス単位にまとめられた意見があ る。これがために常に話し合い る機会を、出来るだけ多くつく 徒会の向上発展のために取上げ ように努めます。 の場を求める。例えば、各クラ 会員相互の自発的な意見を生 監查局員

加地 明3C 滝川幸夫2C で 総務局員 ば 中央委員 体育委員 3 3 2 2 2 B A C B A 3 C 1 1 A 鈴木 彰3B 矢野邦夫2A 西村真人3B 野ノ内選雄ーA 豊田勇造2日 川勝信介 小島一夫 片岡卓三 小笹 豊 入江康夫 段野貴一郎 高木知敬 淵田吉男 風紀委員 安富潔 大概 松下通紀 吉田昭広 森川茂広 石渡 勉 藤山佳秀 中村正博 北条俊吾 大友良夫

一の合同協議会が12月1日に行なわ 総会が3日水曜日開かれた。会長 から役員の紹介があった後、会費 会則改正が発識されて総会にかけ れ、その結果継続することに決ま

## 役

前期生徒会も漸くその任期を完了して、 無任執行委員とか、クリスマス特別委員といっ

風紀委員 高木 基3人 西田憲司 A 中川義之3B 木原正義ID 野淵恭三28 重松利彦3C

シリスマス特別委員 山根恒美一B杉本孝義一C 松本俊介2B河原林桂一郎C 奥島良介2C中野新之裕1A 奥村新一2A 西村直卓2B 村上与世夫3B加藤新吾3C 源田善朗2B 西脇 出一純也2C 出 营沼一典3A 裕20 修2B 体育委員

小林俊雄IB 神山俊夫2C 岩本 茂2A 福田善弘3C 岡本伸一3B 北村章一3A 中学生徒会 企画委員 とおり 会 評議委員選挙管理委員は前期の 監查委員 田中利彦 野瀬直樹IC c 田口幸広 一色義和 岡田泰弘1B 汐谷隆志IB 富田和男2A 2 A 3 A

監査局 総務局 長 型 関 民夫 小笹 徹 3

での暗殺によっても挫折されず今 たのだ。彼のニューフロンティア 今後の日本を担う学生のうちに、 後も続くことを希望する▼アメリ 界の人々の哀悼の姿として現われ った。彼の人としての真価が全世 って理想主義の灯を高くかかげ幾 カ人はさておき、日本人、中でも 精神を主流とする政策は発展途中 多の困難と危機と戦い克服してい

の人々に強いショック であった。彼は若ざと 決断力に富む勇気をも れたニュースは全世界 ▼ケネディ大統領が十 一月二十二日に暗殺さ

黒田佳男ーB 沼田啓孝ーD 山本俊明2C 土橋 憲IC

吉阿完治2A 猪木武徳3B 菊池敏彦2B 村上清孝3C 下出真法IA 戸田正夫3人

3 B 3 A あり、現在の若者に、特に洛星に ある。この精神なくして何の為の ューフロンティア・スピリットで 努力しょうとするファイトこそニ くる為に、個々が自覚し、向上 くのである。▼よりよき世界をつ そが社会を維持し、発展させてい の精神なくして学んでも人類社会 スピリットに通ずるものだ。▼こ 学に学ぼうとする目的がある。そ 社会を作り上げていくところに大 土台としてより立派な、住みよい 自己完成を目標とし、この教養を 彼の理想主義の正しき偉大きを教 勉学といいたい。ケネディの死は 高い教養と専門分野を身につけ、 だけの為に大学を目指すものが多 学ぶ我々に一番必要なものなので 社会を作るのではない。自分達と の発展は決して望めない。他人が 大学教育を受けるという事はより である。然し、大学に学ぼうとす すぎるのではないだろうか。それ 有名大学に入るのは、結構なこと いるだろうか。いい大学に入って る。」はたして洛星の今の生徒に してこれがニューフロンティア・ 自体悪いことといわない。然し、 書の学歴の欄に〇〇大学卒と書く る真の目的は何であろうか。履歴 これだけが洛星の生徒の夢であれ 有名な会社につとめて、……等々 諸君が国家に何を成し得るかであ 国家が諸君に何をするかでなく、 うな意味の主張があった。「諸君 著しい。即ち、新しい世界を自分で この精神を持っているものが何人 ディ大統領の新任の演説に次のよ 切り開くというファイトが。ケネ この開拓精神が欠如しているよう は小利巧すぎて余りにも情けない し思う。特に洛星ではその傾向が

塩見博三3A 田中治美3B をも同時に教えてくれた。彼の死 えると共に人としての真の生き方

3 3 2 B A C

小泉文明

滕田基夫

長岡一昭

宁理正쬺

上原周三 石井敬三

る会話である。これはけしからぬ一うしてもわからないことなどを、

し普通に生徒の間でとりかわされ これは、木曜日の下校時になる

ことだなどというつもりはない

「が普通は我々の生活にカトリック」れている。いや暖かく迎えてくれ「働きぶりを示すことだろう。

仕方ない、帰ろ帰ろ。」

今日は宗教研究の日やないか。

んと座って聞く。宗教研究会とは

放課後遊んで帰ろか。」「アホ|話をしかめっ面をしながら、きち

木

教

研

人は同じて和せず。」という有名一なら、クラスの全体意志に従えば一ていわれているのに、ボヤボヤ、

よって取り上げられ、却下された

徒はみな「小さな紳士」だ」なん

きである。そしてそれがクラスに

ある。が、しかしそれがなざれな

|う他の者に雷同して「エエゾー。||る。いやそれを、人間成長の上に

没する機会はいろいろあるはずで は良くないことである。不満を発

やるぞ!」と言えば不満であるに

もかかわらず「エエゾー。」と言

間の失敗、あやまちを肯定してい

いじゃないか、先人もみな、若い

でのはけ口が自分の親しい友、も

面上だけのものであってはならな

いのである。"ボス"が「ええな

|敗をしても、又誤解をされてもい|でも言える若者。 "失敗を恐れな 男の子だ。若いのだ。どんなに失きくなろうとする上に於ても。何 一秘められたまま口外されない。

しくは家庭に及ぶのである。これ

である。が、その多くは個々の胸 での一部は "ポス" に対する不満

るのは良いととであり、必要なと

とである。が、そのまとまりは表

はならないだろう。でも我々は皆 だし、又時には恥をも忍ばなくて

上に於ても、又個々が人間的に大

明日の新しい洛星を作り上げる

意味ではない。クラス自身まとま一う。これは確かに、勇気のいる事

信じている。

してくれるいい方法に違いないと

れているか、又は自分自身で劣等

いというのは彼等が『ポス』を恐

と言うのである。これを言う前に

一言「ちょっと待て。」と言うべ

ている。何も我々がおそれるには

目を通してもらいたい」

いないと確信している。 っときっと大きな役割を果すに違 い若者に成ろうとする事は、き

もう一言「もう一度との拙文に

の際に故ケネディ大統領の冥福を

した。

ているのではないか。先日、朝礼

っそう興味深く親しく感じられま れは諸君自身の為です。 又それ

為に協力して居られます。此は益しとだが、

性も憎まず学園を信じその発展の

文化祭が

ある。

の二月には戻ってこられるそうで

滞在期間は三ヵ月の予定。来年

なんとか
これを
三日
に 終わると、いつも思う

の御健康を祈りましょう。

みなざん、プラザー・オーベン

〇川島先生宅でおめでた

明るいニュースを一つ。もう知

又御両親は諸君の発展の為に**犠** 

〇文化祭を三日に

々将来の発展を示すと思われま | できないものだろうか。現在の合

唱・演劇コンクール、芸能のプロ

しているかも私は知りました。そ

の為に諸君等が、如何に良く準備 を与えるものと私は思います。そ

望に対して最大の事を与える様諸

っと反省しなければならないと思 もあろうがそれと共に、我々もも

そうである。

ーザー・ピジョンとも会見される ことで、最近日本をたたれたファ

K D

い諸君の難しさを助け諸君等の希 学的な面や精神的な面に於いて若 し、導く様に努力しています。科

議長も反省しなければならない点 で、進行されなければならない。

るいろいろな問題を討議すること

トール会本部で洛星の将来に関す

その目的はカナダにあるヴィア

先生達は努力しているのです。

祈ってお祈りをささげたが、美し

於て必然かつ必要なものとさえし

感を持っているからである。論語

の中に「君子は和して同ぜず。小

ばいわゆる "ボス" である。 これ

に付随して一クラスを構成してい

のではなかろうか。もっとどしど 大多数はこの小人の部類にはいる

おこうという努力をしない。「何 にそれを不平不満で終らせないで 平不満をこぼしていながら、一向

故なのか、どうしてか」と問えば

いいではないか。納得のゆくまで一

し意見を出すべきである。

クラス内には必ずその中心人物、

どのクラスに於てでもあるが、

|な一節がある。中一中二諸君も中

はない。陰でブツブツ学校への不

ぶりを発揮する(?)のは、この

よい。これが真に意見を出すとい

女々しい態度をとってはいられな

三になれば必らず習う一

節であ

もしくは人物選がいる。悪く言え | る。洛星の生徒の | 部、もしくは

る。よくまとまるクラスもあれば

**ぐうでないものもある。 クラス内** 

には必らず不満が起こる。そして

ラスを内部から破壊せよ、という

以上述べたことは、もちろんク

問うのが本当なのではないのか。

とはいうものの言いたい事を言

″失敗を恐れない若者 ″に

張

11

何事も言える若者

## ン校の

度ぐらいのぞいてみては



ころがはたして我々生 徒の間にどれ程、その ら申すまでもない。 本校がミッションスク ルである事は、今さ

カトリックムードとい

して、宗教活動にメス 洛星の"ある一面"と は疑問である。そこで、 うものが漂っているか

を入れてみたい。

木曜日の放課後の宗教研究館の-教会の神父様と日常茶飯事な事を話し合っている これらの生徒達の中に、我洛星のいい一面、他の

はないのだろうか。

を、みずみず逃がしているのでは一の内容に触れて難しいときもある一る。我々生徒には宗研の門が開か 我々は何とも得がたいもの
|子にもたれて話合う。時には教義|
けば良い。
門はいつも開かれてい アグラをくんで或はゆっくりと椅は祈りたくなったとき、数会へ行 ないだろうか。ところが、実は我
ク精神を生かすということに重点 々の身近におこる困ったことやどがおかれているように思われる。 こんなものだと思っている人はい一の中心になる。とにかくカトリッ これが宗教研究の実体である。人 用していくか、ということが話題 的なものの考え方をどのように応 のの考え方を会得することことで と、何とも惜しまれる訳だ。この ときなどに何ものにも変えがたい あろう。将来、国際人となったと 機会をどらえてカトリック的なも って大切なのは、皆が均等にこの も大勢いるが、何よのも我々にと 研究中より信者への道と進んだ人 きあるいは人生の壁にぶち当った 何ともし難い疑問をとく場として一おちてきた、照明の係の人が通る る。週、一、二時間の授業では如 従が参加していないこと を思う 全員参加の外は、どの学年も二十 と、そのとき我々は相談相手を望 - 三十名程度の少数で、大半の生 も最適だ。現在の状況では中一が くれる相談相手を。これを求める ひ、慰め、励ましそして指導して には宗研が一番良いと思うのであ

るだろう。一人で、友と或は家族 何があろう。我々は悩むときがあ のクリスマスにしてくれるものそ のは何だろうか。クリスマスを真 またそろそろクリスマスも近づい れはカトリック精神をおいて他に 個に満ちた安らきを与えてくれる ンドル=サービスの灯に何か、幸 、荘厳なミサ、暗を照らすキャ んが、その精神も知らずたわいな お祭り騒ぎに終らせるのではな

だった。

十月三十

僕の席は劇などをするのに必要

さいにクツの裏についているホコ たっていたのでよくホコリなどが めの鉄の道)のちょうど真下にあ 堂にかかっている照明台へ行くた リがおちてくるのである、このホ な照明の係の人が通る鉄の道(講 い。おねがいします 文化祭のフラッシュ

の係の人はなるべくスリ足である。れば、楽しむべき文化祭がなくな 年からは、 補導部か 何かで 制限 だ。文化祭をたのしむなんてまる だけに許可し、写真をとらせて し、どうしても必要だというもの れる事にはまいった。あっちでパ ってしまうだろう。来年のために は、と思うのである。そうしなけ で夢だ。そこで一つ言いたい。来 シ、こっちでパシ、全く興ざめ 部で、フラッシュをパシパシやら 文化祭中、特に二日目の芸能の りするのではないだろうか。少し り、暴言を吐くバカ者が現われた ぐらい独断的傾向を帯びてもよい から、議長はもっと信念をもって

を守ってもらいたい。

台をつかわれる場合には次のこと たびにおちてくる。これから照明 コリは劇がおわるたび又はじまる

ないようにしてもらいたい。

これができないなら次に、照明

る場合は紙をしいてホコリがおち

まず最初に、照明台をつかわれ

ちょっといわしてもらった。 務に当ってもらいたいものだ。 〇議長の権威を尊重せよ

M·S

言であった事を認め失言を取り消 態云々」は識長に対する侮辱の暴

HIC·山崎二郎)

2000

は相当にボリュームがあったとの

「羅生門」。向こうの人のお話で

他人にまどわざれることなく任

会終了直後の

かないでもらいたい。

でよいから守ってもらいたい。さ

今あげた二つの内どちらか一つ

うに前をむいているときには頭の られない。なぜかというと、ふつ t

日は文化祭。は目の中にホコリがはいらないといる生徒は少なくないと思う。議 上にホコリがおちるし、上を見れ 一つでよろしいから守って下さに、議事を運んでほしいものだ。 なにとぞとんど照明台をつかわら、会議のルールや生徒会則を、 K·N) 分で却下したのに、後で再審議の り、それだけならまだよいが、自 一度に対して、不満と疑問を持って 機も、議長権限で全て却下した 長は増上の飾り物ではないのだか この間の生徒総会での議長の態

しているから議長不信任案が出た かいつ ばかりは言っ Oお わび は思いますが、是非実現させて下 先生方の御苦労も増すだろうと 〇謡曲部遠征出演 ておれないだろう。 (S.1)

僕の発言中「精神状

出演したのである。 れたものでそのお弟子さんと共に 謡曲部の出しものは「竹生島」

### 敗を恐れない若者。で洛星を満た きっと、「何でも言える若者」 表し、質問する事である。これは に一つ提案する。授業中何でも発 者。になろうではないか、その為 言える若者。失敗を恐れない若 らなくてはならないと思う。 士の数にとじてもっていない いだろう。消極的だ『小さな神 何でも となる 洛星 の生徒

ビジョン神父様

化祭の準備は、諸君の不断の活動 感じています。例えば運動会、文

そ若人の崇高さです。

たれた若人である事です。これと 肉体的健康であり、此の平均の保 上記の様に智的開発意志の強さと

ら言って、

を見て、心から希望が持て喜びを

(修道院裏庭)

私が日本に来た第一の理由は、

の文化を益々発展させる様に励む

という高い文化の子孫であり、と一ける最高権威者は、職長である。

し、日本の発展の原因をなしてい

ピジョン神父様特別寄稿

を書く事は、 国を知る事、 在で斯くも大 か二週間の滞 ついての印象 またその国に きな、美し 君、京都に僅 親愛なる諸 それでも日本に来る前から、少々一が諸君の将来に対する偉大な希望 出来ません。幸い通訳のお蔭でい りしましたので自分の目で見る京 す。特に日本語の出来ない私は個 私にとって本当に難しい事なので 都は、それが良く思い出されてい 日本に就いて読んだり、又聞いた な物を見て歩く機会を得ました。 くらかの人々と話したり、又色々 人的に多くの人々と接触する事が

えている事も知っています。それ 時にその事が諸君に良い刺戟を与 何に難しいかも知っています。同

日本の大学に入学する事が、如

に努めているのです。私達カトリ

| 議はもっと形式的である、めんど を、よく考えてみよう。本来の会

うくさくても、正しい形式を踏ん

御両親は、皆崇高な若人を造る為

祭、プラザー達、立派な教師達、

私達ヴィアトール会員である司

で出る始末である。全く成ってい

去る十一月五日(火)会計にお

ックの教義は諸君等の希望を照ら

また諸君等の将来を希望している。の会議とはどういうものなのか。夕へ向かっため、羽田をたたれ

た。京都出発は前日の四日。

ない。会員は全員もっと、本来とられたプラザー・オーベンがカナ

ったかも知る事が出来ます。 的、肉体的発展の為に、活発であ の応用であり、 それが 如何に知

の細かい優しい国民である事を示しのません。又諸君等は、日本文化 的であり、活動的であり、心違い 然のままに置いてある石も本当に なものを好む国民である事も知り 見ました。その静かな環境は日本 あります。私は古いお寺や庭園を や米国に見る事の出来ない魅力が ました。庭園の植木、花、また自 人が自然の優雅さを愛し、黙想的 京都の静かさ美しさにはカナダ と、信じます。それで益々諸君等 知ったか、御両親により知った 的、道徳的水準を得る事を自分が 身の為です。諸君等が洛星を希望 的道徳的水準を保つ様に努力する は智徳を得る様に努めなければな 事です。それは先ず、諸君等の自 は、同時に洛星という学園の為で 私の希望は、諸君が益々高い智 洛星において 高い智

じ、他方私達も益々諸君等の為に一形で今後十

園に協力している 事であると 慇

私は此等全ては諸君等が此の学一グラムで二日を費やすという形に

なって三回を経たわけだが、との

午、二十年も続くはず

っている諸君も相当いると思う

努力する衝発心を得、日本人に対

はないし、

する髪着心を益々強く深くしてく

れます。此こそ益々洛星の発展、よいのではな

のに違いあるまい。カトリックの

霊のためにひたすら祈りたかった という感じがした。我々総て彼の くそろった声に生徒一同心は一つ

も多くいるのではないだろうか。 学校に入った喜びをかみしめた人

もないと僕たちはおちおち劇もみ一〇議長はもっとしっかりせ

います。

ヴィアトール会員

る。もちろん

望む

れる場合にはさっきあげた事の内しつつ少しわきまえて、スムーズ(徒が入るだけで限界であり、一学 設けてはどうか。現講堂では、生 だろうか。それともう一つ、四年 ムグラムを加えて、三日にすれ ば、ゆっくりとできるのではない 前のように、 れだけではない。あと半日分のプ

るがえしてしまう。ああいう事を 発言があると、すぐ前の態度をひ らないと思える重要な議題提出動一が共に鑑賞することからくるプラ 当然採決をとって決めなければな一不可欠の問題である。父兄と生徒 年四クラスになると、これは絶対 スは非常に大 へきいのだが、そうと

課後に講堂で行われた高校生徒総 の発言中の暴言についてのお詫び 十一月十九日の七時間目及び放 先日の高校生徒総会における僕

像大な学園史を造る源であると思 ラムも、二日で消化するのは無難 影響しているだろうが、原因はそ ずである。それならもう変えても が六時頃になったので明らかであ である。このことは二日とも帰宅 いつかは改められるは 、演劇の時間超過も 父兄の鑑賞日を別に いか。現在のプログ いいい で、何から何まで全て標準をオー と夜、標準オーバーの泣き声にう ことで心配されていますが、きっ 下のところ先生は山行きの費用の バー(やっぱの親子ですな)。目 貴樹ちゃんはすこぶる健康だそう ルカとする予定だそうです。当の 聖ルカの祝日だったということで れしい悲鳴をあげられることでし いですね。洗霊名は生まれた日が しのよさ。いかにも川島先生らし たものはすべて男子用という手回 存知だった(?)そうで用意され が、去る十月十八日(金)第二日 る前から男の子だということを御 まれました。先生にとっては三人 赤で川島先生待望の赤ちゃんが生 名前は貴樹ちゃん。先生は生まれ 目のお子さんでもちろん男の子で

会部が十月二十七日(日)柏樹閣に 三千春さんの父弥左衛門氏が開か 季謡曲囃子会」に出演した。この おいて開かれた「金剛流豊星会秋 会は洛星〇・Bの豊島(てしま) 近頃相当意気を高めている謡曲



存在すら無視されていた。関係 間の高校生徒総会は、その意味か に従わなければならない。この だから皆んなは、議長のいうこと 議長の権威どころか、

のない動機や、果ては不信任案ま 〇ブラザー・オーベン帰国 クラブの 活躍によって洛星の

「スポーツの秋」の最後が飾ら

よると 「洛星は一生懸命 練習

ブも二、三あるので、これらの

打43433321326 54福山山天木吉松伊 1967年 1967年

又一試合一本をコンスタントに

評

顧問の先生のお話しに 3-2 大谷

あった。

×

C

ーナーと言われる三器を守り、

打っており将来は大いに楽しめ

000000120034

延長8回

しくなかったが、一番を打つ高 本校打線は全体的に余りかんば

京都市中学私学大会(十月十二)

の熊谷君は、俗に「ホットコ

洛星 洛星

013 0-3

公命 同志社

に新人大会等が残っているクラ たクラブはなかった。なお、未 の準備で充分な練習ができなか ったこと、その直後の記念祭等 残念ながら、試験が大会と重な

野球部以外に目立った活躍をし ったことなどで、前号で報じた

> 洛星000000001 ▼準決勝再試合(14日於吉祥院)

> > まった。

球を乱し無念の一点を与えてし

卓球部 三位

しかしその山本も延長8回に制

洛星

1-2 平安

(決戦) 0-

洛星 2-2 洛星 2-1

修学院

洛星

013

が、山口では国体が催され、 内を大いににぎわしたが、本校

压

8回途中日没の為引分け

東京では 国際 スポーツ 大会

似たようなものであったが、洛

京都市中学私学大会

(十月十二於華頂)

庭球部 二位

節かに見守ろう。

試合経過は大体両チームとも

(十月十二日於聾唖学校)

まった。

は、最少得点差ながら敗れてし

きたが、さすが名門東山の前に

おいては猛練習のかいあって

(評)さて野球部は今大会に

ನ್ನ

一、二回戦を猛打で勝ち抜いて

関した野球部のこれからに大い

・敗れたりとは言えどもよく健

に期待しよう。

京都市秋季選手権

野球部ベスト4

でも多くのクラブが種々の大会

に出場した。だが、成績の方は

133332323232 0000101002

0001-0003

熊稲木山山天松吉松 547169328

> どたえのある投手戦となった。 投手も見事な変化球を配し、見

さえられていたのに対し、山本 星打線が東山の投手の速球に押

準決勝

洛星

3-0

盗

れるように期待しよう。 

た。プログラムの第八番目に、幼一に向かって盛んにシャッターを切

っていよいよ競技開始である。

技

競技は皆が一生懸命にやって、

星

新

10月20日に開かる

二十日皆が一生懸命に競技し、観戦した体育祭。 本当に気持ちの よかった体育祭を今年の反省の意味で、 \*又来年の参考 とし てふり返っ 50

は「我が洛星も第十二回の体育祭 君と共に思い出して見よう。 たが、「会長挨拶」をもつ一度諸 をむかえる程に成長した。十二と 点に大きくひびくから注意。その 生によって開会宣言、国旗、大会 々たる選手宣誓、競技進行注意、  **四掲揚、優勝楯、協力会杯返還、** 選手入場が終わってから、奥本先 し着々とプログラム通りに行われ 初めに、校長先生の挨拶。内容

はよかった。行進も得点種目で、 斐があってか、整然と行われたの た。しかし、行進自体は練習の甲 | <br />
(長挨拶、高三の戸田君による堂 | 感動されて "ヴィアトール会本部 賞、を特別に設けられた。」と述 ョン 神父様が 生徒達が 記念祭準 べられた。 備をとても熱心にやっているのに してくれることを望む、又、ピジ 競

が少し遅かったのは、残念であっ 毎日練習をしてきた入場行進。い )でも注意されていた様に、 集合 まず始めは、中間体操のときに 生徒達は七時五十分に登校して | いうのは丁度、生徒が二回洛星に 様もおいでになることでもあり、 入学し、そして卒業して行くだけ「プログラムは何といったって、仮 する様に努力していただきたい。 諸君が一生懸命に正々堂々と競技 は「今年の体育祭はピジョン神父 状に満足せず、洛星がもっと発展 の期間である。諸君は、決して現 」ということであった。 次は、副校長先生。副校長先生 装行列であろう。 やはり観客にとって一番面白い

体育祭は八時三十分に開会。

開

会

式

仮

装

行

列



は創意工夫のこらされたものも出 出場は、全高校であるが、今年

の名称、オリンピックマークの不 許可の為に七輪ピックとしたわけ の入場等があった。とても工夫さ 会があった。プレオリンピック の入場。正木先生の聖火が七輪が 李ライン)入場。皇太子、妃殿下 リ部隊・ソ連の人工衛星・韓国の リスの列車強盗・エスキモーのソ である。七輪を炭火を入れる七 ようだ。内容は各国の代表(イギ 腕ともじった<br />
り仲々工夫していた

ると、七輪ピッ 少しケチをつけ 割と面白く見ら れた方である。

てよかったように思う。 まず高一の。京都七輪ピック大 いと思う。 クは少し高一だ

したものらしく、苫名先生が女装 して牛車に乗ったり、山伏が出て だ全員が本部前だけで行っていた

改めて行けばよ ので、これから 様な感があった が楽しんでいる 様な、高一だけ けが浮いている 次は高二の仮

のは高三であろう。高三のテーマ

0

0

今年の仮装行列で一番成功した

はないか。

たのは皆が既知の通りである。

いただろうと思われる。けれども一ように見え、遠くからははっきり が何だかサッパリわからない人も れていて計画はよかったのである
|来て勧進帳まがいの巻物を読むな が、少し細かい所に凝りすぎて何一ど多彩なプログラムであった。た

児競争があった。本部の前で行わ一っておられたのも、仲々印象的で一て見守っていた。グランドに入る 不真面目な生徒は見られなかっ。ジョン神父様が走っている子供達。三の奥田君であったが、高校が非があるが、今年も中・高共に行わ で例年のごとくにエール交換があ。思うが、小さい子供達が頑張っても走り易かったであったろうと思 ABCDクラスの応援団によっ れたので覚えていない人も多いと 上々であったし、選手達にとって らしくほほえましかった。又、ピー中学の一位は予想通り文句なく中 三十米のコースを走るのは、可愛一われる。さてその順位であるが、 常な激戦で、観客も手に汗を握っ れた。天候等のコンディションは 中、高共に競技の第六番目に行わ 順番は逆になるが、マラソシが一君がほとんど一緒。それからは、 一校にもなると体格も一応大きくな はすべて一番後ろを見て下さい) 切って一位だった。(なお、記録 展開したが、結局、藤本君が逃げ れた。中学の方はまだよいが、高 まるで八百米のリレーを見ている 傷者が出なかったのは幸いだ。 のが、高二の富田君と高三の藤本 毎年行われる団体競技に騎馬戦 ムも壮烈を極めるから負

校の進歩の方が早いからこうな るのだ」ということだそうだ。 ともあれじみながら前進してい 事が出来なかったのは残念だ。 る事は確かだ。卓球部の動きを し、着実に進歩しているが、他 て期待したような成績を上げる (評) 試験直後のせいもあっ 飽岡 2引分 とまっていたのはよかったが、少 は教職員、二位は現役、三位は〇 れた。練習の甲斐があってよくま B、四位は父兄、五位は聖職者で ープ共、精一杯走っていた。一位 少し詰っていたのは惜しかった。 タワーを作る時に、中学の西側が ではないかと思う。それから洛星 ていたらもっとよくなっていたの 終るとすぐにたての列を整え、ま った。得点種目ではないが各グル に横の列もキッチリー直線になっ "組立体操"が全員によって行わ 難を言えば、一つのフォームが プログラムのしめくくりとして 聖職者・教職員対抗リレーがあ それの次にはOB・現役・父兄

▽京都府中学選手権(10·12)

剣道部奮闘

Aプロック(於中京中学)



装行列。桜田門外の変をテーマと一とわからなかったようだ。もう少一で、連日連夜あの船を作るのや、 し動きを広範囲にしてもよいので は、カモメの水兵さん。 た。マイクの声もよく聞こえてい バトンさばきの練習に費やしてい 仮装行列だけでもたいへんなもの 隊の、カモメの水兵さんの踊り。 とする、白いシャツに青いズボン よいのであろう。緒方部隊を始め って、とても楽しく見られた。高 たし、カモメ艦隊の船も立派であ の制服の水兵さんと指揮官達の部 よりは、あの様に、単純なもの程 った。やはり、細かい芸当をする 二のバトンボーイや鼓笛隊もよか

な山に向かって登りつづけてほしいかく

援 合 戦

今年の応援は、四クラスとも甲一く、熱心に応援をやっていた。 ラスでも、応援をしているか、旗 象がよかった。来年からも、成る を持っているか何らかの形で応援 今年、応援を見ていて気のつい

記

## 応

ような速さで、スパートを二人で「であった。去年のAクラスのやぐ」たととであるが、いつでもどのク ていた。後ろの絵も皆きれいであ一をやめたことがなかったのは、印 今年は各クラスともそれを採用し 乙をつけがたい程すばらしい出来 Dクラスは 一クラス だけで ある べく続けてほしいと思う。 り、外来者は目を見張っていた。 らがとても具合がよかったので、 が、規模の小さいのを挽回すべ 応





出来た。諸君はこれからも、大きなものを皆で作り上げようではな ル神父様が挨拶に立たれ、「洛星」を納めたというべきであろう。 の小さな出 閉会式である。閉会式で、アラー 今年の体育祭は、やはり大成功 がームもすべて終り、いよいよい。」と述べられた。 もいよいよ一 |まで到達することが|ないのであるから来年はより立派 つの大きな山の一つ一かし、これで完全なのでは決して

閉 会 式

新

館

星

階

階

## 館建設始まる

完成は来年三月頃の予定

められている。

今度の新館は全て特殊教室で占

せてくれるだろう。

いものである。

で、新学期にはもつ立派な姿を見 れないが、完成予定は来年の三月 設中である。まだその偉容は見ら

できるようになっている。図を見 れて設けられ、一段と授業を充実 物館には設備の点で非常に考慮さ そういう事なので新しくできる

とこんど初めて作られる地学及び一ろって、また準備室と教室と両方 社会の為の教室があり、二階は全一から出し入れできる引き出しがつ てみるとまず一階に理科の三教室|各机には水道、ガス、電気が全てそ て図書室となっている。 図書室については前号の図書館 く監督がきくそうである。そして く等非常に便利になる。その他に

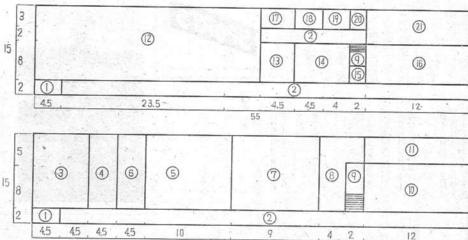
げてみるとまず各部屋をつないで いる廊下がある。これは今の洛星一成が待たれるわけである。 一とのように新館にはいたれりつく せりの設備がほどこしてあり、 ができて生物の授業に一役かう。 は生物室の附属として新しく温室

れる。今回好評であったのは、

中一か。等々、この選曲に負うところ

るだろうか、短時間でも全員の真

### 校 舎 設計



55

8

同

準備室 室

準

準備

学

備室室室

(3) 15 1

事

務

室

閲覧室

13 1

覧室

大 閲覧室

地学社会室

段

20 00 00 00 00 00

洛星会館の完成後三年を待たずしいてひさしがでるそうである。さ 会館のように建築物の中に入り込 んでいるのではなく、飛びだして

室で九十人が収容できるすばらし く、これは学校で初めての階段教 なく横に長くなるので、授業中よ しかも今のように縦に長いのでは ル張りである。面積も広くなり、 は今の化学教室のように全てタイ も地学・社会の選択教室が目につ 次に理科の三教室を見ると、床 らば、全体として可成りの水準に 所があろうとは思つけれども、以 術的、専門的な見方をするなら、 は、キャストの点でも脚本の選択 大なり小なり種々の文句のつけ場 々の制約を受けるものであり、殊 上のような制約や困難を考えるな に本校のような男子のみの学校で か可成の困難である。従って、技

とする脚本を、徹底的に理解し、 と思われる点である。何もセリフ 消化がもう一つ浅いのではないか 空覚え、演技をするキャストに限

超尺約の分の一

単位

メートル

なるのではないだろうか。勿論、

演

劇

答を納得させ、ひきつける演劇に | にもとずいた配慮がもつ少し必要 | 頑張ろうという気持になるのはわ

本

先

生

であったように思う。

労と共に高く評価されるべきであ |るのである。高 『の 「崑崙山の人 れら多くの要素が組み合わせらりふやして舞台をせまく使い、 をと思う。演劇というものが、と | 々」は、登場人物の数を、原本よ | を上演するという事があるとすれ れなかった事柄を、この欄を借り 恩も角もあれまで仕上げた事は、 ヨする所で資任を果し、協力して 仮技に、装置に、効果に<br />
夫々の担 の準備の合間を縫って、生徒諸君 っと一息ついた処で、文化祭閉会 の花を咲かせるものである事を一で、やはりこの意味でもう一段の が連日夜まで頑張って、演出に、 し少し述べて見たいと思う。 式の講評では時間がなくて述べら 中間考査が終ってから、体育祭 忙しかった文化祭が終っってほ 指導に当られた先生方の御苦 | 脚本の内容の充分な理解が望まれ 統一されてステージの上に一 研究がほしかったし、中国の「村」る二次的なものであって、それが れ」では、特に演出に脚本の内容一が与えられることによって、よし の保守党や、中国の「なしくわ えって結果をわるくしているの るものであって、この意味でも、 は、綿密な演出と、すぐれた演技ければ、決して上演を成功させる き、心理の変化を取り扱ったものできるもの、消化できるものでな |思う。高■の場合もそうだが、高 | う。いたずらにむつかしいものを によって、始めて的確に表わざれ」ととはできない。ただ文化祭に演 に、ある程度まとめていたように ねもみのうたも、低学年なり あげていたと思うし、中一の「た 脚本を演出して、かなりの成果を Iの「嵐」でも、人間の感情の動 「舟唄」は、難解な主題をもった 要があると思う。 との意味で、本年度の高量の

タッフの人達の努力を認めないわ のためには欠く<br />
ことのできないス 確かに学校演劇というのは、時 しさこそないが、上演を成功させ 殊に表には出ないために花々

して、また新館が高校の校庭に建一て建物の中を見るとなんといって 達していると言って差支えなかろしめた年はなかろう。しかし、平均 間の点からも、経費の点からも種 して近年のレベルより、進歩して すべての面において、向上してい と、雲陀の差である。選曲、表現、 君の情熱をみて証明出来る。 る事は間違いない。この事は、諸 盛大になり、初回の幼稚さを思う 様になって、今回で六年目、年々 今回程、早くから練習準備を進

った事ではない。効果を受持つも一るからには、誰しも、優勝し、入一 っと気になるのは、脚本の内容の一だが問題は結果よりその経過にあ ただ全体を振返って見て、ちよ 装置を担当するものも、み一貫する事を望む。大いなる犠牲、 こそ、優勝、及び入賞が勝ち得ら ると思う。諸君の情熱を打ち込む いたとはいえなかった事は残念。 難い、尊いものである。勿論、や 時こそ、最も美しい、何よりも得

は困難であろう。しかし、少なく

これは、言うは易しく、実行する

りになって、その方向に進める必

なければ、いたずらに細かい所に

事にあるのではないだろうか。 を理解し、自分をより高めて行く

とも演劇に関係する皆が、その積一て行なつという原則を忘れさえし

も、効果も、すべてこの線に沿っ

一て、情が協力して行く事の大切さ

二年はいいが、五年六年になる 新聞社にはいってくる。一年か

毎年、大学を出た青年たちが

亡彼等の間にははっきのと区別

それを通し

からなくはないが、学校演劇のそ

また、演出も、演技も、装置しそもの出発点は、

原

一功させたその労苦に対して出され

演劇の目的ではない箸だから。賞

ば、それは本末順倒であろう。賞

は、皆が努力して、ある所まで成

中国「なしくわれ」

「村の保守党」

(お畑婆さん)杉本

えない。

先に体で記事を書くことに対

ーもう一度生まれたらか、おれ

んど例外なしに答えるだろう。

もちろん

**今当の新聞記者とは言** 

聞いてみるがいい。彼等はほと

を食べた中年以上の新聞記者に

誰でもいい。一生新聞社で飯

新聞記者であるような人間は、

人になる。<br />
新聞社にいる間だけ

風 (空)

沙谷隆志

(ヌー仙人) 中田 (ジン仙人) 田中康雄

「たねもみのうた」

(商人乙) 松岡一样

(リユウカ) 島田逸人

(手古奈) 安盛

事だけで、もし脚本を選び、演劇 ていて、質がでる、というような 劇がある、コンクール形式になっ

文化祭に合唱コンクールを催す | 学の部では、中一人、二日、三 | も多い。音楽はやはり何かを我々 | 部では、優勝高三C、準優勝二 | っていたが、言葉に無神経なのは、 果、優勝は、中三B、準優勝一一歌うだけでは、音楽とは云えない。 A、三B、三Cである。接触の結の心にあたえなければ駄目で、 A、三位三Cと決定した。高校の 大半は、ニュアンスに良く気を使 先 生

んながステージの上に演出しょう 協力、和、人一倍の努力があって あると思う。その曲がクラスに適 聞き 逃さず 真剣に歌って いるだ しているか、又充分表現出来得るろうか、何人が楽譜にメモしてい している努力が、ひしひしと我々 し作曲者に忠実な表現をしようと スを表現したり、作品を良く研究 離れのしたデリケートなニュアン 成功、不成功はやはり選曲にも の方が上手だ。これは、練習方法 て反省してみたが、平均して前回 指揮者の指示を、全員が一言も して満足とは云えない。 に問題があるのではなかろうか。

一ついやし、紙面の都合もあるので一等に注意をして、美しい合唱をし A、三位三Bと決定した。いちい も出来たものと感心する程の素人 と、中には、生徒選で良く二つ迄 今回は略す。全体的な面から見る ち各クラスの批評をすると数面を一味から来るフレーズ、母音、抑揚 しては、本回のコンクールは、 て欲しいものだ。 見のがせない。もっともっと、意 との二、三年間のテープを聞い | んとうに 楽しい もので あるはず とにかく練習に日数をかけたに一そ本当の合唱となろう。今後の課 決 題一つにして欲しい。苦しみなが が、他のパートの練習の時の態度 のだ、練習中を時々見た事がある 全に(あらゆる面を)おぼえてこ は感心出来ない。他のパートも完 まる。パート練習も最も大切なも 楽しみながらやる合唱も、ほ

た。これは並大抵の事ではない。一る次第である。今後も、この"声" 続入賞と云う輝かしい記録を作っ 学一年の時、指揮をして以来、連 話は変るが高三の革島君は、中一きた事が、 い一ン、不安なりをどしどし発表して なものとし、編集者として非常に の欄を通し、

自分の意見、ギモ

を申し上げます。

の読

一やろうとしても、もしそれが理解

諸君の名前を記して、その労をね

査の席上、候補としてあげられた

きらいたいと思う。

高工「舟唄」(紀州)橋

高Ⅱ

「崑崙山の人々」

(巡查) 塚本章雄

考慮して行なうべきものだと思

脚本の選択も、以上述べた事を一演技質は与えられなかったが、審

だけたら幸いだと思う。最後に、

全体の雰囲気を損なってしまうとかも知れないが、今後の学園の演

間である。

いう事もさけられるにちがいな。劇活動に何らかの参考にしていた

見て枝葉末節に走り、かえって

い、むつかしい事を注文しすぎた

以上何か抽象的な表現をつか

気を使いすぎて、全体の効果から

新聞記者というもの

になると

剣さによって、成功、不成功が決 かに強いものか分る。我を通さしもらいたい。 不平をもってくる。自分はもっ と他の仕事を期待して新聞記者 の青年たちは、それぞれ懐疑と ることを知る。そして他の多く の仕事を娯しく思える人間であ が新聞記者になる以外仕方のな あぐらをかく。自分でも、自分 聞記者の仕事の上にどっかりと 少数のものが、本来の意味で新 がついて来る。そのうちの極く い人間であり、本当に新聞記者 今後共、すべての面に、諸君の若┃▼長い問連載して来た。新聞の読 い情熱を燃やして向って欲しい。 った事をつ な働きであるようである。 うのは、 の、体でぶっかって行くじみちっか。 ている場合もある。 るべきことではない。いかにも 気のきい 明飯な頭脳を思わせるような、 で記事を書くそのことは非難さ 代し、 れしく思うと同時に、

|大切なものと思う。この合唱の練 | ……」と思ったので、奥本先生、 |習が人間形成に非常に有意義であ | 小笠原先生の評のみにとどめてお ず、協力する精神とそ人間の最も |▼文化祭 関係の 記事は 「今さら いたの

"声" この欄が序々に充実して | 出される事を望む。 からは、又新しい連載ものを取り み方。も本回を最終にして、来号 があれば、当局までどしどし申し 上げたいと思っている。もし希望

編

集後記

は例外なく天才である。 は、結局は新聞記者になる以外 れる。その意味では大新聞記者 な人間の仕事ではないかと思わ 仕方なく生まれついている特殊 新聞記者の仕事というもの るように とそうでないものがはっきり区 別される。前者は肉体で取材す になったはずだと考える。 ととで生まれつきの新聞記者 る」といった人がある。若い新 なり、後者は頭脳で取 る 短い時間の英雄であると思われ 聞記者と語っていると、確かに 新聞記者は「時間の英雄であ

が、彼の生理の一部になってい る。四六 人間である。取材ということ るものは、常に肉体で取材する 材するようになる。 から離れず、火事だといえば、 併し、 時中ニュースが彼の頭<br />
の短い時間の英雄である。 結局、大新聞記者にな 併しこの英雄も夕刊がでるまで しい。彼は確かに英雄である。 た時のその記者の眼の輝きは美 したよ。」と彼は言う。こうし 「今日はトップ記事を書きま

聞社から退社して、平凡な家庭 勤して新聞記者になり、夕方新 聞記者になる素質をもっていな 足がいきなりその方向に向く人英雄が生まれてくる。誰も彼を かったのである。朝新聞社に出 するというよりも、もともと新 のは、本当の意味での新聞記者 かは、こうした本当の新聞記者る。そして彼自身も、自分を英 になるだろうが、他の多くのも一雄であったと認めることはむつ 大学出の若い新聞記者の何人 とから落伍する。落伍 に、受持ちのポストに急がなけ らしく自分を英雄にするため ればならない。 ぎないからである。彼はまた新 雄もかえりみない古新聞紙に過 であった。ことさえも忘れてい を記録している朝刊は、もはや かしくなる。彼の輝かしい仕事 英雄とは遇しないし、彼が英雄 夕刊が出ると、他の新らしい

た場合など、結局最後に物をいことは、彼等がやはり生まれつ ことを言ったが、もちろん頭脳 して、頭脳で記事を書くというはやはり新聞記者になるだろう 生まれつきの新聞記者 きの新聞記者であるからであろ 大きい事件にぶっかっ わらず、新聞記者になるという た取材が紙面を光らせものとは言えない。恵まれてい な は今までのところでは恵まれた の職業にくらべて新聞記者稼業 る者はごく少数である。にも拘 処生の方法としてみると、他

仕事がやの易くなって、喜んでい」さった先生方に紙上をかりてお礼 当局の編集方針を確か┃▼新館建設の設計図及び、その内 容を書くにあたり、色々で協力下